

# ジャストラインⅢ申込書

日東工業株式会社 行

申込日:西暦 \_\_\_\_\_ 年 \_\_ 月 \_\_ 日

申込区分  新規登録  メンバー追加  登録変更

ジャストラインⅢを利用するにあたり、  
別紙の利用規約に同意して利用を申し込みます。

郵便番号(必須): \_\_\_\_\_  
住所(必須): \_\_\_\_\_  
社名(必須): \_\_\_\_\_  
利用申込者(必須): \_\_\_\_\_ (印)  
Eメール(必須): \_\_\_\_\_  
電話番号(必須): \_\_\_\_\_  
FAX番号(必須): \_\_\_\_\_

【利用者申込者以外で使う方は、下記にご記入ください】利用者ごとのID登録となります。

■利用者 [氏名:必須] \_\_\_\_\_  
[Eメール必須] \_\_\_\_\_  
■利用者 [氏名:必須] \_\_\_\_\_  
[Eメール必須] \_\_\_\_\_  
■利用者 [氏名:必須] \_\_\_\_\_  
[Eメール必須] \_\_\_\_\_

お客様ご記入欄

## 【日東工業株式会社 営業所記入欄】

当社営業所担当者名 ※登録完了メール通知先		担当者コード	
--------------------------	--	--------	--

■出荷先コードを記入してください。(通常コード又は9Lを指定)

出荷先コードを 記入してください		-	
---------------------	--	---	--

営業所

所長印

送付先:業務部本社業務課

本社業務課印

日付:西暦 \_\_\_\_\_ 年 \_\_ 月 \_\_ 日

＜ご提供いただいた個人情報の取扱いについて＞

- 1.個人情報は、ジャストラインⅢの運用、弊社からの製品・サービス紹介、イベントのご案内に使用させていただきます。
- 2.本お申込にてジャストラインクラブ・N-TECに登録させていただきます。メールにおきまして最新情報をお送りします。
- 3.弊社代理店様が発注処理を行う場合に使用させていただきます。
- 4.上記使用目的に従った使用を行うにあたり、配送業務を委託する業者に対して必要な範囲で開示する場合を除き第三者には開示いたしません。
- 5.個人情報に配慮するとともに安全対策に努めます。

## 《ジャストラインⅢ利用規約》

申込者(以下「甲」という)殿は、日東工業株式会社(以下「乙」という)のジャストラインⅢ[キャビスタ・ラクスタなど]システム(以下「本システム」という)を利用するにあたっては、以下の利用規約を遵守します。

### 第1条(定義)

本システムとは、乙の商品であるキャビネットのユーザー様が乙のキャビネットの在庫を確認してキャビネットの穴加工図を作成し、乙に穴加工を発注できるよう、乙が自ら開発したキャビスタなどのシステムである。

### 第2条(利用手順)

甲は、以下の手順により本システムを非独占的に利用することができる。

- ①甲は、乙所定の申込書により、乙の営業所を介して、乙に対し利用の申込を行う。
- ②乙が申込を承認した場合は、乙はログイン用IDパスワードを甲に提供する。
- ③甲は、ログイン用IDパスワードを入力して本システムの利用を開始する。

### 第3条(秘密保持)

1. 甲は、乙が作成した本システムの資料、乙の商品在庫情報等の乙の業務上、営業上の秘密を秘密として保持し、第三者に対し開示、漏洩してはならない。
2. 甲は、本システムおよび本システムにアクセスするパスワードを第三者に使用させてはならない。
3. 甲は、本システムを使用または管理する甲の従業員に対し、在職中はもちろん退職後においても本条の秘密保持義務を負わせなければならない。

### 第4条(本システム障害時の措置)

1. 甲が、本システムに係る設備の故障または電気通信回線の途絶その他の事由により、本システムに障害が発生したことを発見したときは、乙に直ちにその旨通知し、速やかに対応を図る。
2. 前項の障害が発生した場合、甲は、当該障害が復旧するまでの間、必要に応じ、電話またはファクシミリによるか、それに代わる方法により、乙に対して商品在庫照会を行い、図面作成を行う。
3. 甲が本システムを利用した結果生ずるすべての損害に関して、乙は一切責任を負わない。

### 第5条(不正取引等の防止に関する措置)

甲は、誤入力、データ内容の改ざん、データ内容の不正取得・漏洩、コンピュータウイルスの進入、その他これに類する事故を防止するため自ら安全確保措置を講じなければならない。万一事故が発生して損害を被った場合、安全確保措置を講じなかった当事者自身が損害を負担する。

### 第6条(権利の帰属、譲渡)

1. 本システムに関するすべての権利は乙に帰属する。
2. 甲は、本システムを第三者に使用させ、または使用权を第三者に譲渡してはならない。

### 第7条(本システム利用の停止)

乙は、以下のいずれかの事実あるときは、甲に対し催告、通知を行って、甲の本システムの利用を停止することができる。

- ①甲が本利用規約のいずれかの定め違反したとき。
- ②甲による本システムの利用がほとんどないとき。
- ③理由の如何を問わず、乙が本システムの運用を中止または終了するに至ったとき。

以 上

2020年7月作成